

# 【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。

瀬戸内市は、令和3年2月に、【ゼロカーボンシティ宣言】をしています。そして、国が2050年を目指しているゼロカーボンシティ実現を、瀬戸内市は2040年を目標としています。その最初の事業として、**重点対策加速化事業**という国の交付金を使って、6月1日から市民を対象に太陽光発電設備や電気自動車に補助金を交付する募集が始まっています。その上、2030年までに電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指す**脱炭素先行地域**に応募し、4月末に選定されました。

## 脱炭素先行地域とは

地方自治体や地元企業・金融機関が中心となり、国も積極的に支援しながら、少なくとも100か所の脱炭素先行地域で、2025年度までに、脱炭素に向かう地域特性等に応じた先行的な取組実施の道筋をつけ、2030年度までに実行し、これにより、農山漁村、離島、都市部の街区など多様な地域において、地域課題を同時解決し、住民の暮らしの質の向上を実現しながら脱炭素に向かう取組の方向性を示すとされています。

## 主な取り組みは

- ①PPA（太陽光発電設備の無償設置）事業により、戸建住宅や公共施設の屋根、遊休地に太陽光発電を導入する。
- ②地域エネルギーマネジメント会社を設立し、電気の地産地消を目指す。
- ③脱炭素まちづくり協議会を設立する。
- ④廃棄物と雑木を、木質バイオマス熱利用にし、耕作放棄地問題と獣害防止を図る。
- ⑤地域SDGsポイント制度を導入する。

## ※ゼロカーボン事業

市負担金	重点加速化事業		先行地域事業	
	約1.4億円	約35億円	約1.2億円	約51億円
購入者負担	約26.2億円			
環境省交付金	約7.4億円		約33.8億円	

## くさかとしこの主張

この先行地域の地域電力会社の事業自体が、市民そして議会への説明が不十分で、このまま拙速に事業が進むことに懸念を覚えます。今議会の一般質問では、5人もの議員が質問しました。その都度答弁がころころ変わりました。地域説明会で市は、地域電力会社に対し

・初期投資がいらぬ ・中電はゼロカーボンにならないので使わない ・電気代は安くなると説明しています。そして、環境福祉委員会では、中国電力ネットワークはそのまま利用できるので停電の心配はないと、説明がありました。市民への説明とは、まったく違う説明です。

このような状態で、51億円もの事業が拙速に前へ前へと進んでしまうことに不安を感じずにはいられません。市民に、議会にもっと丁寧な説明を望みますし、回答者によって説明が違うなんていう状況を一日も早く改善していただいて、誰から聞いてもどこで聞いても同じ回答がもらえる一体感のある事業でなければいけない。そうならない限り、これ以上前へ進むことは危険だと思います。

## 令和5年第3回(6月)定例会 賛否の公表

議案名	議決年月日	採決結果	かなえの会			日本共産党瀬戸内市議団		公明党瀬戸内市議団		創流クラブ		瀬戸内市民の会		新風					賛成	反対		
			秦井誠司	成本崇	高原舞	厚東晃矢	島津幸枝	河本裕志	川勝浩子	竹原幹	日下俊子	小野田光	原野健一	平原順二	木下公文	室崎陸海	廣田均	小谷和志			石原芳高	岩田恵一
議案第57号	令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案について	R5.7.11	否決	●	●	●	○	○	●	●	○	○	●	●	●	○	○	—	●	●	6	11
	令和5年度瀬戸内市一般会計補正予算(第3号)	R5.7.11	原案可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	—	○	○	○	11	6

○=賛成 ●=反対 退=退席 欠=欠席 —=議長職(議長は裁決に加わりません)

# 行政 NEWS

# としこ

vol 41

本格的な夏がやって来ましたが、皆様にはお変わりございませんか。少しずつ元の生活に戻りつつはあるのですが、それでもコロナの心配がなくなったかという、まだまだ安心はできない状況です。自分にできることをしっかり行い、ウィズコロナで生活していくことが大切です。

辺りを見渡すと、田んぼがまるで緑のじゅうたんを敷き詰めたように輝いています。私はこの景色が大好きです。こんなステキなところに暮らしていることを、本当に自慢に思います。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

皆さまに市政の場へと送り出しいただいて、10年が過ぎました。その間常に、皆様の声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

田植えが終わった美しい田園風景(磯上)



今回の私の一般質問は、ゆめトピア長船について質問しました。

## としこ's コラム

今年も、油杉子ども会で、七夕会をしました。

地域に子どもの声が響き、七夕飾りがたなびく様子は、本当に微笑ましいうれしい光景です。子どもたちの願いは本当に可愛らしく、笑みがとまりません。地域には、昔ながらの数々の習わしがあります。もうすぐ8月6日には『大小屋(おおごや)』といって迎え火をします。

『ほ〜とけさま、これみて、いらっしゃれ』とみんなで歌って、わらの山に火をつけてお迎えします。

15日には、『万灯(まんとう)』といって送り火をします。

『ほ〜とけさま、これみて、いなっしゃれ』とみんなで歌って、竹に火を灯して、お送りします。

こんなことが普通に繋いで行ける地域が、私は大好きです。大切にしたい伝統です。



令和5年8月3日発行  
発行責任者 瀬戸内市議会議員

## くさか としこ

〒701-4273  
瀬戸内市長船町磯上 569  
TEL/FAX 0869-26-6420  
携帯 TEL 090-5702-8336  
ホームページ



<http://www.kusaka-toshiko.jp/>

## 一般質問 ゆめトピア長船について

### これまでの経緯

H30.3 に計画が出され、耐震のない長船町公民館・支所・長船消防署について、消防署は新築、公民館と支所は保健福祉部仮庁舎を新築する計画から始まったのが、今回の庁舎再編です。

H30.7.17 1,175 名もの長船町公民館の存続を求める署名要望書が市民から提出されました。市の回答は、現在の長船町公民館は避難所としては適切でないことがわかっている以上、現状のまま利用することは不相当と考えていますというものでした。

H30.8.9 長船地区を対象に、説明会が開催されました。住民は、ゆめトピア長船に仮庁舎が新設されるということで、泣く泣くあきらめた経緯があります。それが、2 年もたたないうちに、今後変わる予定はないはずだった計画が、R2.1.8 議会に保健福祉部仮庁舎を再検討して邑久の本庁舎へ統合する案が提出されました。これに対し、5月1,209 名ものゆめトピア長船に保健福祉センターを存続を求める要望書が市民から提出されました。

そんなことはおかまいなしに、庁舎再編はどんどん進み、消防長船分駐所は完成移転し、長船支所も新築移転し、本庁舎西棟改修も完了しこども・健康部も移転しました。

あと残っているのは、現在工事中のゆめトピア長船を改修して長船町公民館が移転するところ、こどもパークがゆめトピア長船に出来ることです。

### くさかとしこの主張

私は、長船の庁舎再編にはずっと反対してきました。ゆめトピア長船についても、心配なところが山ほどあります。一つ一つ説明させていただきます。

#### ◆駐車場について

再編前、ゆめトピア長船の駐車場は、400 台近くありました。大ホールの収容人数が 444 人ですから、みんなが安心して停めることのできる 400 台ある駐車場が、ゆめトピア長船の最大の魅力だと思います。近隣市で考えてもこれだけの潤沢な駐車場がある施設は、他にはありません。それが、2,700㎡のこどもパークが出来ると、70台分の駐車場が減ることになります。これは、ゆめトピア長船の魅力半減だと私は考えます。

#### ◆こどもパークについて

今市が考えているのは、シルバー人材センターから旧長船支所までの 2,700㎡、田んぼ 3 つ分の広大なこどもパークです。それも、4 億円もの予算で考えています。

私は、こどもパーク自体については反対ではありませんが、ゆめトピア長船のあの場所は反対です。どうしてもあの場所に作るのなら、もう少し規模の縮小を求めます。

今年の 4 月 28 日にこどもパークの説明会があり、遊び場は入場料を取るという話も出たと聞いています。市からの説明は、1 人 500 円までなら払ってもいいと若い保護者から聞いたという話があったそうです。瀬戸内市のこどもパークは入場料を取るような想定のコどもパークなのでしょうか？ いったい普通の日に、そして休日に何人の人が訪れる想定か聞いたところ、これからシミュレーションを行うと回答がありました。国では、両親が働いているかどうかを問わずに保育園が利用できる制度を新たに設けるよう検討するとしていて、現時点では、【こども誰でも通園制度】という名称で、2024 年に始まるとされています。何が言いたいかというと、市役所にこんな大きなこどもパークを造っても、これからは平日に子どもはいなくなる、そんな時代が来たということではないのでしょうか？ それなのに、入場料を徴収するとなると、その人件費や機械代の方がよっぽど高くつくと思います。

そして、4 億もかけて造るこどもパークは、造ったら終わりではありません。子どもたちが安心して遊べることを考えると、かなりの維持管理にお金がかかるのではないのでしょうか？

市長がよく言われる、【費用対効果】というのを、考えて欲しいと思います。

## ゆめトピア長船に予定されているこどもパーク



### くさかとしこの主張のつづき

#### ◆長船公民館の統合について

ゆめトピア長船には大ホール、小ホール、健康スタジオ、研修室 1、2、ボランティアルーム、キッチン、和室 1、2、元気発見 1、2、たんぽぽの部屋があります。一方、長船公民館には大ホール、小会議室、講義室、ボランティアルーム、調理室、和室、ミーティングルームがあります。

ずっと言ってきましたが、これらのどちらも活発に使われている施設を部屋を増やすことなく統合出来るのか心配しています。

#### ◆トイレについて

最近の世の中の流れとして、トイレの洋式化・多目的トイレの設置が進められています。瀬戸内市も、駅 3 駅の公衆トイレの新設、学校施設のトイレの洋式化乾式化に取り組んでいます。1 階の一番たくさんの方が使うトイレは、和式の方が多く状態です。どうして、今回改修の時に、整備しないのでしょうか？

この質問に市は、「要望がなかった」という大変残念な回答でした。どう考えても今回一緒に改修してもらえないのは、残念で仕方ありません。ゆめトピア長船は、長船で唯一避難所として開設される場所でもあります、前向きに検討してもらいたいと思います。

#### ◆図書館について

現在の長船町図書館の広さは 136 ㎡で、移転後のゆめトピア長船内の図書館の広さは 248 ㎡です。長船の図書館だけがちょっと手狭だったので、広くなることは大歓迎です。今回ゆめトピア長船の建物の外に 2,700 ㎡のこどもパークが出来ますが、従来のゆめトピア長船の内の遊び場も今より大きくなって残るようです。子どもたちが元気に走り回る姿というのは、微笑ましいものですが、本来静かな環境でなければならない図書館と共存する中で、本当に静かな環境が守られるのかが心配になります。

ゆめトピア長船は、市民ホールであり、公民館であり、保健福祉センターであり、図書館である複合施設なので、こどもパークがよければいいなんてことにならないことを望みます。

#### ◆ゆめトピア長船の管理について

市民ホールでもあり、公民館であり、図書館であり、保健福祉センターであり、こどもパークもできるような施設をつくるのであれば、それは一体誰が責任を持ち、管理をするのかが大変心配になります。それぞれの部門の責任をばらばらに持つなんてことは、私は向かない思います。一つの施設である以上、最終の責任はどこにあり誰にあるのかしっかり決めておかないと、統一は取れないし、無責任の部分が出てくると思います。

市長から今年度中には決めると回答がありましたが、泣く泣く長船町公民館をあきらめた人たちを、これ以上裏切らないように残念な思いをさせないようお願いしたい♥と思います。